

衆議院選挙総括を踏まえ第27回参議院選挙を勝利しよう！

＝立憲民主党勝利！衆参選挙立憲民主党支持労組・団体総合選対本部会議＝

立憲民主党勝利！衆参選挙立憲民主党支持労組・団体総合選対本部は、1月25日「杉妻会館」に於いて第50回衆議院選挙総括と第27回参議院選挙方針確立の意思統一を行う会議を開催しました。

(主な議案抜粋)

(はじめに)

第50回衆議院選挙ご苦勞様でした。皆さんのご支援ご協力により立憲民主党は、50議席増の148議席を獲得することが出来自公政権与党の過半数割れに追い込みました。

福島選挙区では、3勝1敗でしたが、比例復活で全員が当選することが出来ました。

心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

私たちは、「裏金・脱税、大企業（富裕層）優先と戦争政策」の自民党を許すのか、「平和と雇用・生活優先」の政治をめざす立憲民主党を勝利させ、自公政権を終焉させるために全力で闘ってきました。

さらに、来年7月には参議院選挙があります。各単産出身の比例区予定候補者が決定され

活動していますので、今回の選挙と連動して進めて来ました。

(今後の課題)

1、年々下がる投票率に対し私たちは、「政治と生活」「政治と仕事」など政治が如何に大切なものを意識させる政治学習（活動）が必要であります。立憲民主党・社民フォーラムが主催しての国会報告会や学習会が必要です。

政治は、私たちの命と暮らしを守る根本です。政治に無関心でいられても政治に無関係では、生られません。

多くの労働者組合員を選挙闘争に参加出来るよう努力をしなければなりません。

2、今回の選挙は、後援会、立憲民主党連合、社民フォーラム等で選対を構成し、社民フォーラムは、選挙区選対で勝利の一翼を担うことが出来ました。選挙区選対は、小選挙区候補者当選のための活動となり、立憲民主党の比例区の活動が後手に回っています。今回の選挙で比例区が伸びなかった一要因にもなっています。今回の選挙区の公認候補の獲得した得票と比例区の差は約半分です。

3、地区に於いても「立憲民主党支持労組・団体地区選対」を結成し、青年労働者への働きかけ政治意識を高める努力が必要です。多くの地区選対は、退職者が中心となっており継承・発展させるためにも、支持労組、組合員を対象にした学習会（現職が関心を持つもの）が必要です。

社民フォーラムは、2回の支持労組・団体との意見交換会をおこなっていますが、参議院選挙前に第3回の意見交換会を行い意思統一を予定しています。

4、東京都知事選挙、衆議院選挙そして兵庫知事選挙に見られる、SNSやYouTube活用を活用したところは、票を集めています。投票率が毎回下がる中で、若者が選挙に関心（ゲーム感覚）を持ち投票行為を行い、若者の投票率を上げています。我々の選挙戦術も考えなければなりません。



立憲民主党勝利！衆参選挙総合選対本部会議
(2025. 1. 25 杉妻会館)

第27回参議院選挙方針

1、7月には、第27回参議院選挙が行われます。福島選挙区は、石原洋三郎（福島市議 51歳）さんが立憲民主党公認で立候補（5者協議会決定）します。相手は、森まさこさん（60歳3期）自民党で「裏金・脱税、統一教会」に關係する現職参議院議員です。

第27回参議院選挙で自公政権と野党を過半数割れに追い込むには、野党で75議席以上を獲得しなければ達成できません。そのためには、野党共闘は非常に重要ですので野党第1党である立憲民主党の力量が問われます。

衆議院での立憲民主党への国民の信頼（政策実現）と期待に応えることが必要です。

2、比例区の得票を上げるには、単産出身の候補者と選挙区候補者の連携協力が必要です。具体的取り組みを選対会議を開催し意思統一して行きます。

選挙区予定候補者

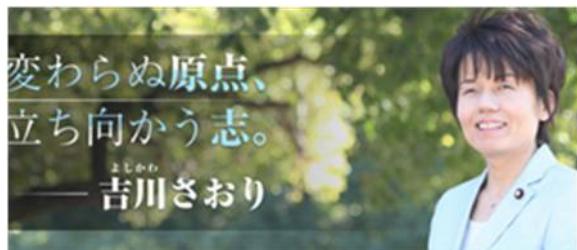
石原 洋三郎



平和と生活優先の政策が実現させるため自公政権の少数与党に追い込みます。ご支援・ご協力をお願いします。

比例区単産出身予定候補者

吉川 さおり（情報労連）



みずおか俊一（日教組）



小沢まさひと（JP 労組）



岸まきこ（自治労）



森屋 隆（私鉄総連）



2025原発のない福島を！県民大集会

二度と福島の悲劇を繰り返さないよう、私たちは訴えます。
福島を忘れないよう、私たちは発信します。

日時: 3月15日(土) 13時~15時30分

場所: パルセいいざか(コンベンションホール)

規模: 1,000人(県内600人、県外400人)

社民フォーラム60人(各地区に要請します)

- ① 記念講演
- ② 福島からの発信
 - ・生活再建の状況
 - ・再生可能エネルギー
 - ・若者からの訴え
- ③ 集会アピール